

志茂田景樹

待合室の神秘

癒し系の絵が掲げられ、美術誌Aのバックナンバーしか置かれていない。小さな歯科医の待合室。そのソファで彼女はAのダリ特集に目を通していった。

二度目は待合室のドアの外で出合い頭のよう

に会った。「今度、一緒に食事でもしませんか？」

唐突になぜそんなセリフがごく自然に飛び出したのだろう。真夏の夕暮れに吹きだした涼風にミステリアスな好奇心をかき立てられたものか。それに対する彼女の返事も意外だった。

「嬉しいです。日時場所を指定してくれませんか？」

僕は次回の予約時間を教え、さらりと言った。

「できたら僕の予約の後に予約してくださいませんか。Aのダリ特集にメモを入れておきます」

この誘いに、スマホを介在させたくなかった。それから二週間経った。僕はメモを入れなかったが、今、彼女はなにこともなかったかのように、ソファーにかけてAに目を通して



志茂田景樹氏

作家、「よい子に読み聞かせ隊」隊長。1940

年静岡県生まれ。80年に小説「黄色い牙」で直木賞を受賞。「笑っていいとも」などバラエティー番組にも多く出演。99年、家庭における絵本の読み聞かせの必要性を痛感し、「よい子に読み聞かせ隊」を結成。全国各地で活動を行っている。2014年「キリンがくる日」で日本絵本賞読者賞を受賞。Twitterのフォロワーが38万人を超えるなど、多くの若者に支持されている。公式ホームページは「<http://www.kageki.jp/>」。

「はなはなし購読サービス」は患者さん向け読み物を購読・配送するもので、歯科医院のみに提供。

執筆者自らの手書き原稿(B5サイズ)を毎月10

0枚配送する。発行は毎月2回(原則、1日・15日)。

利用料は毎月500円(税別・送料込み)。申込は

ウエブサイトか。

<http://www.mic.jp/hanahashi>

提供 株式会社



【次回は平松洋子氏です。】